

# 熊本県博物館ネットワークセンター 取り組み実績(H26～H30)

## 1 サポート機能

① 県内博物館の収蔵資料を活用した展示	
(1) 展示	<p>ア 収蔵資料情報の共有化(データベース構築) 別項に記載</p> <p>イ 共同企画展、資料出品等 ※ [ ] は入場者数</p> <p>【H26】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同展示 身近に知る「くまもとの大地」(御所浦白亜紀資料館等) [447人]</li> <li>・ 共催展示 阿蘇中岳の活動(阿蘇火山博物館) [24,469人]</li> <li>・ 収蔵資料出品 天草市立御所浦白亜紀資料館(貝類標本) [3,200人]</li> </ul> <p>【H27】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同企画展 博物館NCオープニング企画展「再発見!くまもとの博物館」(県立美術館別館) [1,233人]、「地質の日くまもと」(御船町恐竜博物館) [2,749人]</li> <li>・ 収蔵資料出品 県立美術館(動物標本) [8,064人]、天草市立本渡歴史民俗資料館(動植物標本) [839人]</li> </ul> <p>【H28】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同企画展 「未来につなぐ宝物」(天草市民センター) [2,085人]</li> <li>・ 収蔵資料出品 くまもと文学・歴史館(写真・植物標本) [3,369人]</li> </ul> <p>【H29】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公開シンポジウム及び文化財レスキューパネル展 「大規模災害発生時における博物館の役割」(熊本パレア) [143人]、「熊本地震と文化財レスキュー」(熊本パレア) [2,246人]</li> <li>・ 収蔵資料出品 山鹿市立博物館(動物標本) [1,098人]、肥後の里山ギャラリー(動物標本) [3,245人]</li> </ul> <p>【H30】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熊本博物館縣市連携展示室「熊本の生きもの」解説 常設展示として、動物標本を約800点、植物標本を97点展示 [29,349人(H30.12.1～H31.2.28 熊本博物館入館者数累計)]</li> <li>・ 収蔵資料出品 熊本市環境共生課(動物標本) [3,519人]、天草市立本渡歴史民俗資料館(動物標本) [1,108人]、天草市立御所浦白亜紀資料館(動物標本、地学標本) [4,383人]</li> </ul> <p>ウ 共同調査・研究 平成27年度から、共同調査研究「宮本常一が見た熊本」に着手。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関：五高記念館、熊本博物館、本渡歴史民俗資料館等8施設</li> <li>・ 平成28年度～平成29年度で主催館での巡回展示を行う予定であったが、平成28年熊本地震の影響で、現在活動が中断。</li> </ul>

(1) 展示	② 海外の博物館と連携した企画展
	<p>【H26】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モンタナ州立大学付属ロッキー博物館と博物館活動に係る包括連携を行う覚書締結。(H27. 2. 24付け)</li> </ul> <p>【H27】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 博物館NCオープニングイベントでロッキー博物館の紹介ブース設置。当初予定していた共同企画展開催から変更。</li> </ul> <p>【H28】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地域連携の構築：日米自然科学博物館事業公開フォーラム」(国際交流基金日米センター一般公募助成事業)の共催。(御船町恐竜博物館、阿蘇プラザホテル、天草文化交流館)</li> </ul> <p>【H29】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実績なし</li> </ul> <p>【H30】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実績なし</li> </ul>
	③ 博物館ネットワークセンター資料を活用した展示
	<p>ア 博物館ネットワークセンター企画展 センター内展示室で、各分野毎に企画展(1分野2か月間程度)を例年5プログラムほど実施。 例：「ちょっと昔の暮らし探検(民俗)」、「くまもとの猛禽類(動物)」など</p> <p>【H26】 2,458人 【H27】 3,507人 【H28】 185人 【H29】 6,717人 【H30】 3,437人 (H31. 2. 22時点)</p> <p>イ 他施設での企画展(移動展示) 県内高等学校、阿蘇火山博物館、パレア、長洲町金魚の館、県環境センター等、10施設程度で例年開催。 【H26】 38,568人 【H27】 26,065人 【H28】 24,013人 【H29】 57,857人 【H30】 17,107人</p> <p>ウ 学校移動展示用パッケージの製作(H26～H30) 小・中・高等学校用の展示パッケージを各分野ごと(生物、地学、植物、生物)に製作。義務制は各教育事務所に、高校は各地の拠点校に配置し各地で活用。</p> <p>【H26】 高校用：①外来生物 (H27：7校・3,480人、H28：6校・1,730人、H29：7校・2,829人) ②日本のバイオーム (H27：8校・2,660人、H28：6校、810人、H29：6校・1,186人) 中学用：①火山と火成岩 ②化石 (H27：不明、H28：26校・7,627人、H29：40校・10,082人)</p> <p>【H27】 中学用：熊本の植物 (H28：27校・8,179人、H29：40校・10,674人) 小学用：いろいろな石 (H28：36校・8,511人、H29：35校・8,622人)</p> <p>【H28】 高校用：地球の歴史・火山・鉱物 (H29：3校・2,371人)</p> <p>【H29】 小学用：身近な生き物</p> <p>【H30】 中学用：土の中の生態系</p> <p style="text-align: right;">※ ( ) 内は利用実績 (パッケージを活用した人数)</p>

<p>(1) 展示</p>	<p><b>④ 県民が参画できる展示(民間研究団体やミュージアム・パートナーズ・クラブ)</b></p> <p>ア 平成30年度活動中のMPC 総登録者数74人 ( )内は各会の登録者数  ①草木染の会(10)、②雁回山の植物を観る会(20)、③地学研究会(5)、④松橋地域史調査クラブ(5)、⑤くまもとの大地の成り立ち(35)、⑥貝類調べ隊(13)、⑦シダを楽しもう会(18)、⑧交流支援クラブ(6)</p> <p>イ 活動実績  センターで開催する企画展の中でMPCの活動成果・作品等を展示。</p> <p>【H26】  「火山と地震」(阿蘇火山研究会)、「植物と遊ぼう」(草木染の会)</p> <p>【H27】  「火山と防災」(阿蘇火山研究会、くまもと大地の成り立ち)、「雁回山の植物」(雁回山の植物を観る会)、「植物標本展」(南阿蘇ビジターセンター：南阿蘇植物の会)</p> <p>【H28】  熊本地震により中止</p> <p>【H29】  「阿蘇の植物」(南阿蘇植物の会)、「くまもとの地質」(くまもとの大地の成り立ち、阿蘇火山調査会)</p> <p>【H30】  「くまもとの地質」(くまもとの大地の成り立ち)</p>
<p>(2) 学芸員による市町村等の支援など</p>	<p><b>① 専属の職員がいない市町村や博物館等に対する支援</b></p> <p>ア 人材データベース  ・ 県内の博物館業務を担当する職員や学芸員等を登録するデータベースを作成し、HPで公開している。  ・ 熊本県博物館連絡協議会加盟館や県教委、県内市町村等に情報を提供し、登録を呼びかけており、平成30年度現在151人が登録。</p> <p>イ スタッフ派遣による企画展や調査研究の支援  実績なし。</p> <p>ウ 人材バンク  ・ 設置にあたり、関係機関へのアンケートやヒアリングを実施したうえで以下の2つの手法を検討したが、aを実施することとした。  a 求職者(学芸員)を登録し、登録者に求人情報を提供。併せて、講座・講演会等を開催し、スキルアップによる就労支援を行う。  b 博物館連絡協議会等の組織で学芸員を雇用し、県内博物館に派遣する仕組みを構築。</p> <p><b>② 展示会等を企画する総合プロデューサーの育成</b></p> <p>● 総合プロデューサー育成研修の実施 * [ ]内は受講者数</p> <p>【H26】 ・ 「ミュージアムマネジメントの必要性について」 [39人]</p> <p>【H27】 ・ 「ICTを活かした博物館活動」 [29人]  ・ 「観光資源としての博物館」 [27人]</p> <p>【H28】 ・ 「熊本地震から学ぶ 博物館と地域の文化財」 [34人]</p> <p>【H29】 ・ 「九州・山口の博物館ネットワーク作り」 [27人]  ・ 「博物館等における映像を活用したプロモーション活動について」 [20人]</p> <p>【H30】 ・ 「地域と博物館」 [22人]  ・ 「子ども向けの効果的な教育プログラムの開発について」 [28人]</p>

<b>(3) 調査研究機能 ・資料修復機能 の強化</b>	<b>① 調査研究環境の整備</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内博物館のニーズ調査、先進地視察、調査委託の実施        県内博物館、文化財関係者の聞き取りによるニーズ調査、（公財）元興寺文化財研究所、北九州市立自然・歴史博物館、九州歴史資料館、石川県文化財保存修復工房などの先進施設の業務内容、使用機材等について調査を実施。        (結果)        資料を詳細に観察する、素材等を分析する機材整備は、調査研究や修理修復方針を立てるうえでも有効。ただし、県内博物館等の調査対象を明確にして必要な機材の選定が必要。（同じ分析装置でも調査研究内容により必要なスペックが異なる。）</li> </ul>
<b>(4) 学習支援</b>	<b>② 資料修復センターの整備</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内博物館のニーズ調査、先進地視察、調査委託の実施        (結果)       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公の施設で、美術工芸品などの資料修復センター機能を持つ施設は九州国立博物館や石川県にあるが、どちらも民間団体（文化財修復の職人の団体）に貸し出されている。本県は、施設を運営できるだけの文化財修復技術を有する組織はなく、職人数も少ない。</li> <li>・ 県内でニーズが高いのは、日常的に使える燻蒸庫と埋蔵文化財の保存処理であり、1.5m四方の殺虫用燻蒸キットはセンターが所有（リース）しているためセンター内での対応が可能。</li> </ul> </li> </ul>
<b>(4) 学習支援</b>	<b>① 出前講座、共催講座の開催</b>
	<p>ア 講座        【H26】9講座 【H27】12講座 【H28】2講座(熊本地震のため減) 【H29】8講座 【H30】7講座        (H30実施内容)        ①貝類学、②植物観察、③金峰山の地質、④熊本の祭り、行事、芸能、⑤子どもたちに民具を伝える、⑥古写真読み解き、⑦天草の古文書基礎</p> <p>イ 出前講座 (H31. 2. 26時点)        【H26】35回 【H27】32回 【H28】29回 【H29】45回 【H30】51回</p> <p>ウ 自然観察会        【H26】10回 【H27】8回 【H28】5回(熊本地震のため減) 【H29】7回 【H30】9回        (H30実施内容)        ①海辺の生き物、②食虫植物、③阿蘇の昆虫、④川原の石、⑤夏の星空、⑥半月の観察と撮影、⑦地層と化石、⑧落ち葉図鑑製作、⑨水辺の冬鳥</p>

<p><b>(4) 学習支援</b></p>	<p><b>② ミュージアム・パートナーズ・クラブの設立支援、活動支援</b></p> <p>現在、MPC8団体の活動を支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「阿蘇火山調査会」においては、当センター及び阿蘇火山博物館と合同研究(地質調査研究)を実施中。「阿蘇北外輪山における先阿蘇火山山体地形の復元」をテーマに調査を行い、2年目に中間報告書を作成、現在4年目を迎える。</li> <li>・ 「阿蘇文化調査研究会」は阿蘇市と共同で活動していた。現在はMPCでの活動から独立した会として活動中。</li> <li>・ 「草木染めの会」は平成29年度宇城市の公民館講座を実施。</li> <li>・ 「南阿蘇植物の会」は平成23年度から実施している「阿蘇野草園」の植物調査の結果を、環境省九州地方事務所と共にまとめ、冊子を発行。</li> <li>・ 「貝類調べ隊」は平成29年度に、熊本市が主催する生物多様性シンポジウムで、これまでの成果をパネルで発表。また、熊本市の環境共生課からの依頼で、熊本市内の陸貝相調査も実施中。</li> </ul>
<p><b>2 ネットワーク機能</b></p>	
<p><b>(1) 情報・施設間のネットワーク</b></p>	<p><b>① 熊本県博物館資料統一データベースの構築及びポータルサイトの作成(一部再掲)</b></p> <p>ア 県内博物館等で共有可能なデータベースシステム、ポータルサイトを平成27年10月から運用開始。 イ 平成31年1月末現在で21団体が利用、登録データ数は約41万件。</p> <p><b>② 県立の博物館等施設、市町村や民間の施設等との連携</b></p> <p>【H27】博物館NCオープニング企画展「再発見！くまもとの博物館」では県内62の博物館等の資料を一堂に会した共同企画展を開催。 【H28】「未来につなぐ宝物」では天草地域の博物館と連携した企画展を開催。 ※ この他、県立装飾古墳館が開催したイベントへ体験教室で参加。 ※ 文化財レスキューでは管内各館と連携し実施。</p> <p><b>③ 海外の博物館等とのネットワーク構築(一部再掲)</b> (前掲)</p>
<p><b>(2) 研修・イベント等のネットワーク</b></p>	<p><b>① 学芸員の、展示や資料保存に関する技能研修、意見交換会の開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スキルアップ研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>【H26】 ・ 「文化財の保存科学と温湿度環境」 [43人]</li> <li>【H27】 ・ 「博物館環境について」 [29人]</li> <li>・ 「掛軸や巻子の取り扱いについて」 [21人]</li> <li>・ 「生物被害と加害生物について」 [27人]</li> <li>・ 意見交換会の実施「熊本県博物館ネットワーク共同企画展について」 [21人]</li> <li>【H28】 ・ 「古文書整理ワークショップ」 [24人]</li> <li>【H29】 ・ 「ふすまの下張文書剥がし」 [20人]</li> <li>・ 「博物館等における資料保存の観点からの照明管理」 [30人]</li> <li>【H30】 ・ 「古文書の補強技術について」 [13人]</li> <li>・ 「写真撮影の技術や現在の動向について」 [22人]</li> <li>・ 「室内空気汚染の基礎知識について」 [25人]</li> </ul> </li> </ul>

<p><b>(2) 研修・イベント等のネットワーク</b></p>	<p><b>② 体験学習、ワークショップなどの合同イベントの開催</b></p> <p>【H27】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「再発見！くまもとの博物館」関連企画として「わくわくミュージアム体験教室」を開催。</li> <li>・ 「フィールドミュージアムへ飛び出そう」10プログラムのうち3プログラムを他機関と合同開催。</li> <li>・ MPC主催の親子体験型学習会「キッズミュージアム」を開催。（457人）</li> </ul> <p>【H28】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天草地域展「未来につなぐ宝物」関連企画として参加施設のスタンプラリー（173人）や体験ワークショップ（95人）を開催。</li> <li>・ MPC主催の親子体験型学習会「キッズミュージアム」を開催。（55人）</li> </ul> <p>【H29】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ MPC主催の親子体験型学習会「キッズミュージアム」を開催。（230人）</li> <li>・ 県立装飾古墳館で開催されたミュージアムキッズ全国フェアに参加し、親子体験型教室を実施。</li> <li>・ 「フィールドミュージアムへ飛び出そう」9プログラムのうち4プログラムを他機関と合同開催。（275人）</li> </ul> <p>【H30】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内博物館4館、MPCと共同で子どもの体験型学習会「キッズミュージアム in 益城」を益城町で開催。（500人）</li> <li>・ 県内博物館12館と共同で教員のための研修会「教員のための博物館の日in熊本」を当センターで開催。（44人）</li> <li>・ 県立装飾古墳館で開催されたミュージアムキッズ全国フェアに参加し、親子体験型教室を実施。</li> <li>・ 「フィールドミュージアムへ飛び出そう」10プログラムのうち1プログラムを他機関と合同開催。（244人）</li> </ul>
	<p><b>(3) 調査研究・運営管理等のネットワーク</b></p>
<p><b>② 災害時の資料レスキュー活動ネットワークの構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成28年度熊本地震により被災した文化財を救援する「文化財レスキュー事業」の現地実施本部として、国や教育委員会等と連携して活動。</li> <li>・ 平成29年度は県教委が実施主体となったが、引き続き現地本部を設置し、レスキュー事業を実施、また、毎週金曜日、県庁でのレスキュー定例会議に職員2名が出席。</li> <li>・ 平成30年度は資料整理を行う市民ボランティアの育成及び活動を担当。</li> </ul>	
<p><b>③ 県博物館連絡協議会のスキームの活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成27年度から協議会の理事として活動。平成29年度には監事に選任。</li> <li>・ 博物館職員向けの研修会を総会時に合同で開催。</li> </ul> <p>【H28】 「熊本地震から学ぶ博物館と地域の文化財」</p> <p>【H29】 「九州・山口の博物館のネットワークづくり」</p> <p>【H30】 「地域と博物館」</p>	